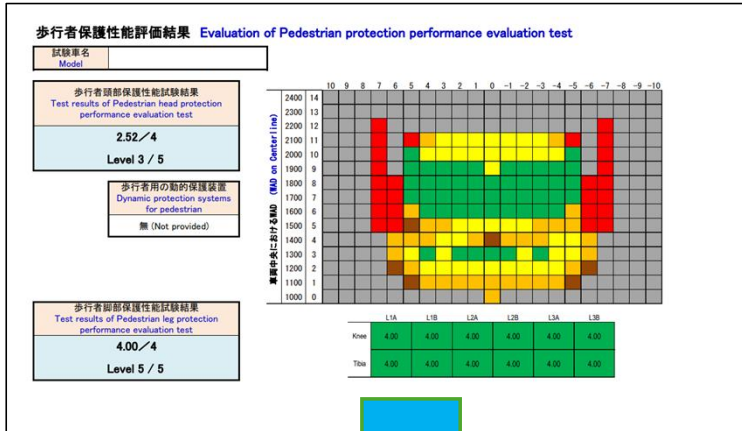


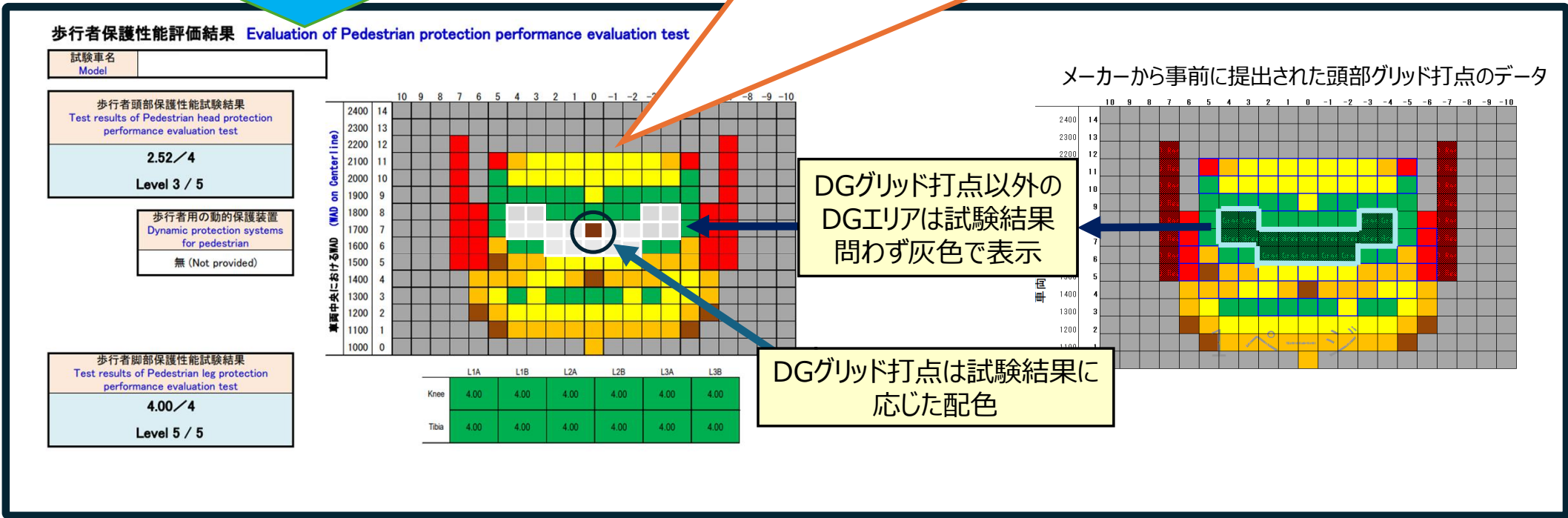
# 1. ウィンドシールド中央グリッドにおける評価結果の見せ方と得点の取扱い

(以前の  
見せ方)



- 【見せ方】**
- ◆ 選定されたウィンドシールド中央グリッド打点については、非典型割れが発生した場合も含めて**試験結果に応じた配色とする。**
  - ◆ 打点として選定した以外のウィンドシールド中央グリッドについては、**試験結果に拘わらず、傷害値にバラつきが生じ得るエリアとして灰色とする。**
- 【DGグリッドの得点の算出方法】**
- ◆ 打点として選定した箇所については、**試験結果に応じた得点とする。**
  - ◆ 打点として選定した箇所以外のウィンドシールド中央グリッドについては、従前のDGとして取扱い、基本方針のとおり**得点補正はおこなわない。**
  - ◆ 追加試験はおこなわない。

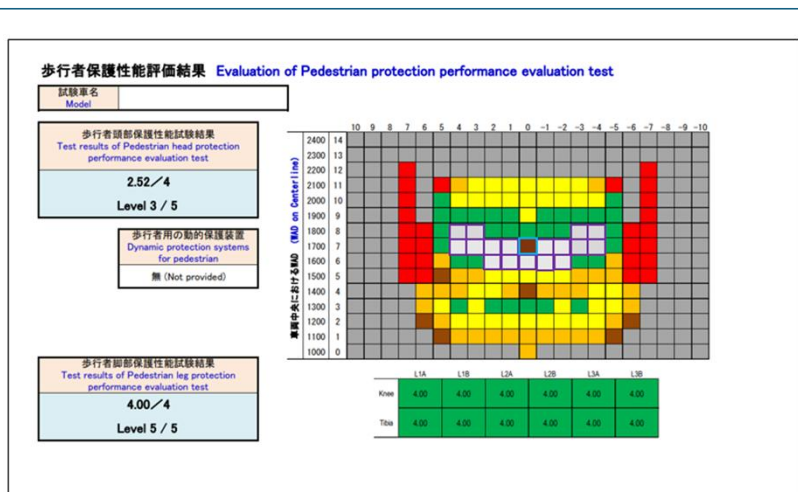
(現在の  
見せ方)



## 2. ウィンドシールド中央グリッドにおける評価結果の対外的な説明

来年度から頭部保護評価の一部取扱いを改正する理由の対外的な説明を作成し、公表時の歩行者保護性能評価結果の下段に記載する。

【機構HP等において来年度からの改正についての対外的（ユーザーへの）な説明文】



この空白部分を活用

### <灰色に表示されたエリアについての説明>

自動車アセスメントにおける歩行者頭部保護評価の開始当初、前面ガラスの傷害値は低いことが知られており、試験範囲であっても前面ガラス中央付近は試験を行っていませんでした。

しかしながら、近年、国内外の試験機関等において前面ガラス中央付近で予測より傷害値が高い事例が確認されました。

また、自動車アセスメントにおいても前面ガラスの試験エリア内で同様の事例が確認されました。

そこで、2025～2027年度までの取扱いとして、試験範囲内の前面ガラス中央付近は予測より傷害値が高く出る可能性のあるエリアとして「灰色」で表記し、この期間で新たな評価方法を検討することとしました。

### 3. ウィンドシールド中央グリッドにおける評価結果の対外的な説明文の修正案

本年度実施した調査研究によって、自動車アセスメントの条件においてもガラス中央付近での非典型割れが確認されたため、その旨を説明文に明示する修正を行う。

【2026年度からの対外的（ユーザーへの）な説明文の改正案】

#### <灰色に表示されたエリアについての説明>

自動車アセスメントにおける歩行者頭部保護評価の開始当初、前面ガラスの傷害値は低いことが知られており、試験範囲であっても前面ガラス中央付近は試験を行っていませんでした。

しかしながら、近年、国内外の試験機関等において前面ガラス中央付近で**想定**より傷害値が高い事例が確認され、**ナスバの実施した調査研究においても確認されました。**

また、自動車アセスメントにおいても前面ガラスの試験エリア内で同様の事例が確認されました。

そこで、2025～2027年度までの取扱いとして、試験範囲内の前面ガラス中央付近は**想定**より傷害値が高く出る可能性のあるエリアとして「灰色」で表記し、この期間で新たな評価方法を検討することとしました。

#### 歩行者保護性能評価結果 Evaluation of Pedestrian protection performance evaluation test

試験車名  
Model

歩行者頭部保護性能試験結果  
Test results of Pedestrian head protection performance evaluation test

2.52 / 4

Level 3 / 5

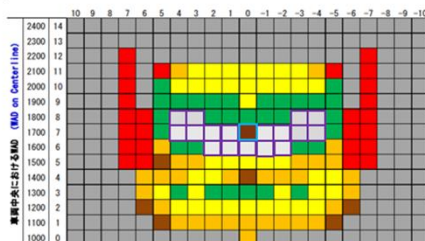
歩行者用の動的保護装置  
Dynamic protection systems for pedestrian

無 (Not provided)

歩行者脚部保護性能試験結果  
Test results of Pedestrian leg protection performance evaluation test

4.00 / 4

Level 5 / 5



この空白部分を活用